

第2回城陽市水道事業及び下水道事業における
包括的民間委託優先交渉事業者選定審査会会議録

日	時	令和7年6月3日（火）	9時30分から 16時30分まで	
場	所	城陽市公営企業庁舎2階 第1会議室		
出	席	者	楠見審査会会長、尾原委員、西崎委員、竹内委員	
欠	席	者	－	
議	題	等	【議題】 （1）プレゼンテーション及び質疑応答 （2）採点の自己調整 （3）選定に係る全体協議	
審	議	概	要	別添「審議内容」のとおり

審議内容	
《開催結果の概要》	
1. 開会	
事 務 局：	本日は、全委員に出席いただいております。城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託優先交渉事業者選定審査会設置要綱第5条第2項により、本日の会議が成立していることを報告します。
2. 議題	
(1) プレゼンテーション及び質疑応答（A社～D社まで順次実施）	
事 務 局：	優先交渉事業者の選定に係るプレゼンテーションを開催します。 開始時間になりましたら、私が開始の合図をいたしますので、プレゼンテーションを開始してください。本プレゼンテーションは持ち時間25分となっております。終了3分前と終了時にそれぞれアラームを鳴らします。 その後、20分間を目途に質疑を行います。
参加企業：	プレゼンテーションの実施 ※非公開
事 務 局：	続きまして、質疑応答の時間とさせていただきます。質疑応答は20分程度を予定しております。 質問のある委員の方は、挙手していただき、マイクを受け取ってご発言願います。
委 員 及 び 参加企業：	質疑応答実施 ※非公開
事 務 局：	皆様、ありがとうございました。 これにてプレゼンテーションは終了となります。機材の片づけと退出をお願いします。退出にあたっては事務局職員の案内に従って移動をお願いします。 なお、選定結果につきましては、6月末を目途に、参加企業様に通知させていただきます。また、市のホームページにおいて、優先交渉事業者名及び得点を公表します。次点以下については匿名化して得点を公表します。 委員の皆様は、参加企業の方が退出後、採点作業をお願いします。
(2) 採点の自己調整	
事 務 局：	採点作業完了後は、採点の自己調整時間としておりますので、全体を通しての修正があれば、青字で修正をお願いします。採点結果の修正が完了しましたら、事務局職員に採点表をお渡し下さい。
(3) 選定に係る全体協議	
事 務 局：	城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託優先交渉事業者選

審議内容	
	定審査会設置要綱第5条の規定に基づき、会長に進行をお願いします。
会 長 :	事務局より進行を預かりましたので、城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託優先交渉事業者選定審査会の議事を進めます。 お手元に、応募グループごとに各委員の評点を事務局が入力した「各委員協議・調整表」及び「各社毎の評価の集計表」が届いているかと思います。 これより、「各委員協議・調整表」をもとに採点の全体協議を行いますので、事務局は確認が必要と思われる箇所をあげてください。
委 員 及 び 事 務 局 :	採点についての協議。委員による採点表の修正。 ※非公開
会 長 :	修正があった委員は、事務局に「各委員協議・調整表」を渡してください。事務局は「各社毎の評価の集計表」の修正作業を行ってください。 事務局が「各社毎の評価の集計表」の修正を行っている間に、各委員から各提案に対する所感などを頂きたい。
委 員 :	総論的な話になってしまうが、基本的に要求されている水準に対して合格水準での提案は各社に頂いていたと感じた。 若干の優劣がついた部分は、提案されていることの具体性や実現性といったところで現れたと思う。
会 長 :	次の委員、所感をお願いします。
委 員 :	各社の提案書を拝見し、優劣をつけるのが難しいと思いながら取り組ませて頂いた。 各社とも市の要求水準はクリアされていたと感じた。どこで差がついてきたかという、やはりDXを用いた業務効率化の提案が充実していたとか、そういったところで差が出たと思う。
会 長 :	次の委員、所感をお願いします。
委 員 :	クオリティとしてはどこの会社も問題無いレベルものが出来ていたと思う。 DXの取組等の実績を多く有している会社は、上手くフィードバックで出来ている点で有利になった面があると思う。
委 員 :	3名の委員がおっしゃった意見に私も同感です。 何処が担っても市の要求水準には十分達していると思う。 差が付いたのは、実績といかにこれからの時代に合った先端技術を駆使してやっていくかということだと思います。 ただ、先端技術というのはベンダーロックインが懸念されるので、市の方で業務に支障を来さないようコントロール出来るようにして頂きたいというのが私の所感です。

審議内容	
会 長 :	さらに何か感想等ありますか。
委 員 :	なし
会 長 :	それでは、それぞれの委員からいただいた意見を参考に優先交渉事業者を公表する際の選定理由とさせて頂きたいと思います。私の方で文案をまとめたいと考えていますが、ご一任頂くことでよろしいですか。
委 員 :	異議なし
会 長 :	ご意見無いようですので、優先交渉事業者を公表する際の選定理由については、私の方で文案をまとめさせて頂きたいと思います。 お手元に修正が反映された「各社毎の評価の集計表」が届いているかと思えます。各自ご確認をお願いします。
委 員 :	確認作業を実施
会 長 :	確認できましたでしょうか。それでは読み上げます。 A社、合計291.25点。順位としては4位。 B社、合計295.25点。順位としては2位。 C社、合計300.75点。順位としては1位。 D社、合計293.00点。順位としては3位となりました。 こちらの評点結果を城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託優先交渉事業者選定審査会の評価として市に提出してよろしいか。
委 員 :	異議なし
会 長 :	それでは本日の案件は以上で終了となります。 この後の進行を事務局にお返しします。
事 務 局 :	今後の予定ですが、本日の審議会の会議録について調製し、委員の皆様へ送付いたしますので、ご確認と確認結果の連絡をお願いします。 その後、6月末に本日の審査結果を受けて市として選定した優先交渉事業者名と、各参加企業の点数を公表します。なお、次点以下の参加企業名については匿名で公表します。委員の皆様のお名前と肩書についてもそこで初めて公表します。
3. その他 なし	
4. 閉会	